令和6年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号 824

事務事業名称		選挙管理委員会運営事務						
担当部署(R7年度機構)		部: 選挙管理委員会事務局		課: 選挙管理委員会事務局		区分	行政運営事業	
基本項目	総合計画 基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり				細区分	行政運営区分	
	総合計画 施策目標	31.持続可能な行財政運営を進めます				性質	内部事務・行政運営	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—			
	事業期間	事業開始： 不明		～	事業終了予定： 未定(継続実施含む)			
	根拠法令等	地方自治法、公職選挙法						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし				補助金性質:	—	
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	適正な委員会の運営が出来る状態						
	対象者(受益者)	選挙管理委員						
	現状・課題	委員会の開催に支障が生じる						
	事業の概要	選挙管理委員会の運営に関することを行う						
	年間の主な事務	・定例委員会の開催 ・臨時委員会の開催 選挙等のため、臨時委員会を開催						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	0.70人	—	—	—
再任用	0.00人	—	—	—
任期付職員	0.00人	—	—	—
会計年度任用職員	0.00人	—	—	—
特別職非常勤	4.00人	—	—	—
附属機関委員	0.00人	—	—	—

決算額 (千円)			R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R6予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	5,382	—	—	—		
		会計年度任用職員	0	—	—	—		
		特別職非常勤	2,652	—	—	—		
		附属機関委員	0	—	—	—		
	人件費計		8,034	—	—	—		
	物件費計		0	—	—	—	0	0.0%
歳出計			8,034	—	—	—		
歳入	国庫支出金		0	—	—	—	0	
	府支出金		0	—	—	—	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	—	—	—	0	
	市債		0	—	—	—	0	
	その他		0	—	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)			0	—	—	—	0	
一般財源(物件費充当分のみ)			0	—	—	—	0	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 定例委員会の開催回数	回	12 回	ー 回	ー 回	ー 回

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①						
説明						
指標		R6	R7	R8	R9	単位
	目標					
	実績					
	算出方法					

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①						
説明						
指標		R6	R7	R8	R9	単位
	目標					
	実績					
	算出方法					

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	・定例委員会の開催12回(議案数54) ・臨時委員会の開催4回(議案数7) 第50回衆議院議員総選挙、選挙管理委員会の改選関係の臨時委員会を開催。
R7年度	
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R7年度取組方針	適正な委員会の運営に努める。	R7年度方向性	現状維持

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	現状維持	現状維持	ー	ー	ー

令和6年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　825

事務事業名称		選挙啓発事業						
担当部署(R7年度機構)		部:　選挙管理委員会事務局		課:　選挙管理委員会事務局		区分	任意的事業	
基本項目	総合計画 基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり				細区分	任意的区分	
	総合計画 施策目標	31.持続可能な行財政運営を進めます				性質	内部事務・行政運営	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—			
	事業期間	事業開始：　不明　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	公職選挙法						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質:　—						
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	選挙執行の周知や投票方法の啓発等を通して、選挙権を有する市民の投票意識が高まり、投票率が高まっている状態						
	対象者(受益者)	選挙権を有する市民、将来選挙権を有することとなる市民						
	現状・課題	市民に対して、選挙期日や投票場所等、選挙執行に関する啓発を行う必要がある。各種選挙における投票率が低下しており、特に若年層の投票率が低い状況にある。						
	事業の概要	多くの方に政治や選挙に関心を持ってもらえるよう、機関紙白ばらの発行や白バラ講座の開催など、枚方市明るい選挙推進協議会とも協力して啓発事業を行う。特に若年層の投票率が低い状況にあることから、将来有権者となる児童・生徒に政治や選挙への関心を高めてもらうため、市内の小・中・高校に選挙に関する出前授業の活用などを働きかけるとともに、明るい選挙啓発ポスター―コンクール―の作品募集など、啓発事業を行う。						
	年間の主な事務	・枚方市明るい選挙推進協議会と協働による白バラ講座の開催 ・機関紙白ばらの発行 ・出前授業や模擬投票による啓発活動の実施 ・ポスター―コンクール―の実施						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	2.60人	—	—	—
再任用	0.00人	—	—	—
任期付職員	0.00人	—	—	—
会計年度任用職員	0.00人	—	—	—
特別職非常勤	0.00人	—	—	—
附属機関委員	0.00人	—	—	—

決算額 (千円)			R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R6予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	19,989	—	—	—		
		会計年度任用職員	0	—	—	—		
		特別職非常勤	0	—	—	—		
		附属機関委員	0	—	—	—		
	人件費計		19,989	—	—	—		
	物件費計		1,056	—	—	—	1,172	90.1%
歳出計			21,045	—	—	—		
歳入	国庫支出金		0	—	—	—	0	
	府支出金		0	—	—	—	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	—	—	—	0	
	市債		0	—	—	—	0	
	その他		0	—	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)			0	—	—	—	0	
一般財源(物件費充当分のみ)			1,056	—	—	—	1,172	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 出前授業や模擬投票による啓発活動を実施した学校数	校	9 校	ー 校	ー 校	ー 校

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①

説明: 市民が選挙執行に関する啓発活動に参加する機会が増える

指標: 選挙に関する出前授業を受けた児童・生徒数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	700	700	700	700	人
実績	701	ー	ー	ー	人
算出方法	アンケート集計				

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明: 選挙執行の周知や投票方法の啓発等を通して、将来選挙権を有する市民の投票意識が高まっている

指標: 選挙に関する出前授業を受け、政治や選挙に関心を持った児童・生徒数の割合

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	80	80	80	80	%
実績	82.1	ー	ー	ー	%
算出方法	アンケート集計				

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

選挙啓発等を通して、選挙権を有する市民及び将来選挙権を有する市民の投票意識を常に高く持てるように、政治や選挙に関心を持った目標数値(アウトカム)を維持する。

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	・出前授業:市内小学校8校、中学校1校で出前授業を実施し、R5年度より実施校も増え、選挙に関心を持った児童・生徒数の割合も目標を達成した。 ・小中学校の児童を対象にポスターコンクールを実施:応募数214点 ・白バラ講座の開催:11月22日 講師:辛坊 治郎氏 参加者1,468人 ・新有権者啓発:新しく選挙人名簿に登録された18歳の市民に、啓発ハガキを郵送 対象者3,803人 ・機関紙白ばらの発行:18,000部発行 概ね全世帯に回覧・配布
R7年度	
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R7年度取組方針	より効果的な活動方法を引き続き検討していく	R7年度方向性	現状維持

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	現状維持	現状維持	ー	ー	ー

令和6年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　826

事務事業名称		選挙事務						
担当部署(R7年度機構)		部:　選挙管理委員会事務局		課:　選挙管理委員会事務局		区分	義務的事業	
基本項目	総合計画 基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり				細区分	非選択的区分	
	総合計画 施策目標	31.持続可能な行財政運営を進めます				性質	内部事務・行政運営	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—			
	事業期間	事業開始：　不明　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	公職選挙法、裁判員の参加する刑事裁判に関する法律、検察審査会法						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質:　—						
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	公正かつ適正な選挙の執行を行うことが出来るような環境が整っている状態						
	対象者(受益者)	選挙権を有する市民						
	現状・課題	選挙権を有する市民が適正に投票、および法令に基づき選挙の執行を管理できるような環境を整備する必要がある						
	事業の概要	適正、円滑かつ効率的な選挙事務の管理執行に関することを行う						
	年間の主な事務	・各選挙の執行、準備等 ・永久選挙人名簿、在外選挙人名簿の調製 ・裁判員候補者予定者名簿及び検察審査員候補者予定者名簿の調製						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	1.10人	—	—	—
再任用	0.00人	—	—	—
任期付職員	0.00人	—	—	—
会計年度任用職員	3.47人	—	—	—
特別職非常勤	0.00人	—	—	—
附属機関委員	0.00人	—	—	—

決算額 (千円)			R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R6予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	8,457	—	—	—		
		会計年度任用職員	1,004	—	—	—		
		特別職非常勤	0	—	—	—		
		附属機関委員	0	—	—	—		
	人件費計		9,461	—	—	—		
	物件費計		82,894	—	—	—	86,277	96.1%
歳出計			92,355	—	—	—		
歳入	国庫支出金		0	—	—	—	0	
	府支出金		135,087	—	—	—	152,037	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	—	—	—	0	
	市債		0	—	—	—	0	
	その他		0	—	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)			135,087	—	—	—	152,037	
一般財源(物件費充当分のみ)			0	—	—	—	0	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 永久選挙人名簿の調製回数	回	12 回	ー 回	ー 回	ー 回

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①

説明

指標

	R6	R7	R8	R9	単位
目標					
実績					
算出方法					

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明

指標

	R6	R7	R8	R9	単位
目標					
実績					
算出方法					

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	・永久選挙人名簿の調整:名簿登録者数330,573人(R6.9.1) ・裁判員・検察審査員候補者予定者名簿の調整:予定者名簿を調整し、大阪地方裁判所等に提出。 ・令和6年10月27日衆議院議員総選挙の執行。
R7年度	
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R7年度取組方針	選挙の適正かつ効果的な執行を推し進めるとともに、経費削減についても引き続き検討していく。	R7年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	現状維持	**現状維持**	ー	ー	ー

令和6年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　910

事務事業名称		選挙管理委員会事務局運営事務						
担当部署(R7年度機構)		部:　選挙管理委員会事務局		課:　選挙管理委員会事務局		区分	行政運営事業	
基本項目	総合計画 基本目標	9.施策体系外				細区分	行政運営区分	
	総合計画 施策目標	99.施策体系外				性質	内部事務・行政運営	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—			
	事業期間	事業開始：　不明　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	地方自治法						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質:　—						
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	適正な事務局運営が行われている状態						
	対象者(受益者)	選挙管理委員会事務局の職員						
	現状・課題	事務局の事務全般に支障が生じる						
	事業の概要	選挙管理委員会事務局の運営事務に関することを行う						
	年間の主な事務	・所管する予算の執行管理 ・庁内外との照会回答処理事務 ・所管財産の管理						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	1.60人	—	—	—
再任用	0.00人	—	—	—
任期付職員	0.00人	—	—	—
会計年度任用職員	0.00人	—	—	—
特別職非常勤	0.00人	—	—	—
附属機関委員	0.00人	—	—	—

決算額 (千円)			R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R6予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	12,301	—	—	—		
		会計年度任用職員	0	—	—	—		
		特別職非常勤	0	—	—	—		
		附属機関委員	0	—	—	—		
	人件費計		12,301	—	—	—		
	物件費計		4,182	—	—	—	4,284	97.6%
歳出計			16,483	—	—	—		
歳入	国庫支出金		0	—	—	—	0	
	府支出金		0	—	—	—	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	—	—	—	0	
	市債		0	—	—	—	0	
	その他		0	—	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)			0	—	—	—	0	
一般財源(物件費充当分のみ)			4,182	—	—	—	4,284	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
①			―	―	―

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①						
説明						
指標		R6	R7	R8	R9	単位
	目標					
	実績					
	算出方法					

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①						
説明						
指標		R6	R7	R8	R9	単位
	目標					
	実績					
	算出方法					

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	・予算の適正な執行に努めた。 ・所有財産である選挙備品等の管理を行った。 ・システム標準化への移行に向けて、委託契約の締結を行った。
R7年度	
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R7年度取組方針	適正かつ効果的な事務局の運営に努める。	R7年度方向性	現状維持

参考	方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
		現状維持	現状維持	―	―	―